

2. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(1) 連結 （単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	236,000	8,100	4,400
今回修正予想（B）	235,000	8,600	4,700
増減額（B - A）	1,000	500	300
増減率（％）	0.4	6.2	6.8
（ご参考） 前期実績（平成 18 年 3 月期）	191,591	8,046	4,347

(2) 個別 （単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	169,000	8,000	4,800
今回修正予想（B）	168,000	8,500	5,300
増減額（B - A）	1,000	500	500
増減率（％）	0.6	6.3	10.4
（ご参考） 前期実績（平成 18 年 3 月期）	162,375	7,354	3,832

3. 修正の理由

当中間期の売上高は、健康食品や飲料が好調に推移いたしました反面、レトルト製品などが苦戦しました結果、連結（増減率 0.4％）、個別（増減率 0.5％）ともに前回発表予想数値を下回る見込みです。一方、経常利益は、原価および販管費が低減したことから、連結（増減率 22.2％）、個別（増減率 18.8％）ともに前回発表予想数値を上回る見込みです。また、中間純利益は投資有価証券の売却益の発生などにより、連結（増減率 33.3％）、個別（増減率 31.6％）ともに前回発表予想数値を上回る見込みです。

なお平成 19 年 3 月期通期の連結および個別の業績予想は、中間期の業績見込みと下期の業況を踏まえて上記の通り修正させていただいております。

（ご参考）

前期実績との増減につきましては以下の通りです。

当中間期の連結業績は、前年同期比で売上高は 233 億円（増減率 24.5％）の増収、経常利益はハウスウェルネスフーズ㈱の株式取得に伴うのれん償却額が発生しましたものの、増収効果や、原価、販管費の低減が利益に貢献しましたことなどから 9 億円（増減率 27.0％）の増益となる見込みです。中間純利益は、遊休不動産や投資有価証券の売却益の発生もあり、9 億円（増減率 48.5％）の増益となる見込みです。

通期の連結業績予想は、売上高は 434 億円（増減率 22.7％）の増収、経常利益は 6 億円（増減率 6.9％）、当期純利益は 4 億円（増減率 8.1％）の増益となる見込みです。

（注）上記の業績は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上